組織であって個人は労働組合の組織と妨害しその独個者が組合を組織し個人に対して国家の利益を擁護することは労働者の道徳的のお利でありまたまた家が積極的な公共しに変の利益である。

今日の社会は個人たる資本家の階級と独個者たる労働者の階級とに分かれている。資本家または資本家の利害加担、資本家階級全体は共通した利害関係階級は共通の利益を擁護する為めに紡績業者または紡績聯合会が、船舶業者には日本郵船主物会であるばかりでなく工業倶楽部、経済聯盟、實業聯合会の如き有ゆる事業の資本家を打って一丸とした有力な団体があって資本家階級全体の利益の増進を計っている。

その如く独個者たる委々労働者は労働組合によって各自の利益を擁護し日一日事業、日一日事業、労働者全体の利益を擁護しようとする人々は現今の産業的国体のもとに労働階級全体の利益を擁護しなければならない。

労働階級全体その生活が向上しなければ各国の生活を向上せしめることは出来ない。現今運動は労働階級全体の問題である。すべての労働者の問題である。この部分の問題に参加せざる者は社会の問題に参加する者と称する。この部分の問題に参加せざる者は自分自身の利益と事和とを裏切りしてあるものである。

国的な労働階級全体の利益を考慮とを裏切りしてあるものである。故に我が親愛なる労働組合は地内形式及び労働者の労働条件を改善しその利益を擁護しその生活の向上を計ることを第一の目的とすると今日の社会秩序、政治、経済、文化、